

看護科学学位プログラム(博士後期課程)

専門基礎科目(看護科学学位プログラム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTMB12	応用統計学	1	2.0	1・2	通年	応談		山海 知子, 柴山 大賀, 伊藤 智子	看護研究における量的研究等で実際に使用される統計手法についてクリティークなどを通して各自学びを深め、関心のある統計手法に関する模擬授業を行い、実際の研究への適用を探究する。	対面
OBTMB13	看護研究方法論	1	2.0	1	通年	応談		柴山 大賀, 安梅 勅江, 岡山 久代, 山海 知子, 水野 道代, 岩田 裕子, 大宮 朋子, 目 麻里子, 水野 智美, 浦水 理恵, 伊藤 智子, 工藤 理恵, 菅谷 智一, Togoobaatar Ganchimeg, 井坂 ゆかり	講義と討議により、自立した研究者として看護科学の実践研究を企画・実施・評価するための研究方法論を教授する。	主専攻必修科目。対面
OBTMB14	看護学教育	1	2.0	1	秋ABC	応談		看護教務委員長, 柴山 大賀	看護教育に必要な教授・学生理論と看護教育における教育方法について講義や討議、演習を通して学ぶ。具体的には、看護教育課程の特徴と変遷、カリキュラムの構築、教育観・教材観・学習者観の理解に基づく授業設計の方法、内的動機付け理論、問題解決学習理論、成人学習理論、目標達成理論などの教授-学習理論について講義を行う。また、授業の後半には実習指導案を作成するとともに、受講生によるプレゼンテーション討議を実施する。	対面
OBTMB15	看護科学の基盤と原理	1	2.0	1	春AB	金1,2		柴山 大賀	看護科学研究における知の創造と活用のために、概念・理論、基盤となる哲学的背景、アカデミック・ライティング(研究計画書および学位論文の執筆、剽窃予防等)、看護科学者に求められるリーダーシップについて、課題やディスカッションを通して理解を深め、看護科学の発展課題について科学的に探究する。	主専攻必修科目。対面

専門科目(看護科学学位プログラム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTMC11	看護科学特論	1	2.0	1	春ABC	応談		看護学位プログラムリーダー, 山海 知子, 安梅 勅江, 岡山 久代, 柴山 大賀, 水野 道代, 岩田 裕子, 大宮 朋子, 目 麻里子, 水野 智美, 浦水 理恵, 伊藤 智子, 工藤 理恵, 菅谷 智一, Togoobaatar Ganchimeg, 井坂 ゆかり	今後の看護科学の発展に向け、独創的で創造的な研究課題に取り組むために必要な知識と研究技法の実際について、看護科学のさまざまな専門分野の視点から教授する。	対面
OBTMC12	研究倫理学演習	2	1.0	1	秋ABC	応談		柴山 大賀, 菅谷 智一	看護研究者として必要な研究倫理に関する基礎的な知識、研究を推進するための研究の倫理的な配慮について、e-learning教材(e-APRIN)と討議により具体的な事例を通して学び、実践力を習得する。	対面(オンライン併用型)
OBTMC13	看護科学演習I	1	2.0	1	通年	応談		看護教務委員長, 柴山 大賀, 安梅 勅江, 岡山 久代, 山海 知子, 水野 道代, 岩田 裕子, 大宮 朋子, 目 麻里子, 水野 智美, 浦水 理恵, 伊藤 智子, 工藤 理恵, 菅谷 智一, Togoobaatar Ganchimeg, 井坂 ゆかり	看護科学発展のためのリーダーシップ能力や自立して研究活動や論文作成ができる能力を養うために、各自が設定した研究課題について国内外の論文を検討し、系統的・論理的に研究目的と研究方法を立案・発表し、建設的に討議をすることで論文作成の技術を探究させる。	対面

OBTMC14	看護科学演習II	1	1.0	2	通年	応談	看護教務委員長、柴山 大賀、安梅 勅江、岡山 久代、山海 知子、水野 道代、岩田 裕子、大宮 朋子、目 麻里子、水野 智美、浦水 理恵、伊藤 智子、工藤 理恵、菅谷 智一、Togoobaatar Ganchimeg、井坂 ゆかり	演習により、看護科学発展のためのリーダーシップ能力や自立して研究活動や論文作成ができる能力を養うために、各自の研究課題の独創性や新奇性について、根拠をもって発表し、建設的に討議をおこなうことで、研究遂行能力を探索させる。自らの研究課題を設定し、研究概念枠組みを組み立て、作成した研究計画書にそって研究を進める上での課題等を明確にして改善し、科学的根拠に基づく独創性の高い論文を作成することができることを目標とする。授業計画としては、大学院生各自が自らの研究計画書に沿って進めている研究状況を発表し、他の大学院生や教員との討議を通して、自らの研究上の課題、改善点を明確にする回と、討議で指摘された問題的等に関する改善方法を基に、修正した自らの研究について発表・討議する回(状況に応じて2回目以降は適宜追加)で構成する。	対面
OBTMC15	看護科学研究	1	9.0	3	通年	応談	看護学位プログラムリーダー、山海 知子、安梅 勅江、岡山 久代、柴山 大賀、水野 道代、岩田 裕子、大宮 朋子、目 麻里子、水野 智美、浦水 理恵、伊藤 智子、工藤 理恵、菅谷 智一、Togoobaatar Ganchimeg、井坂 ゆかり	研究指導教員によって演習形式で、3年次に開講する。院生が、研究計画書審査の結果をふまえ、看護科学に関する特定の研究課題について自立した研究活動を行い、科学的根拠に基づいた創造性・独創性の高い博士論文を完成できるよう最終指導にあたる。	対面